

- 受付時間：午前8時30分～午後5時(平日のみ)
- 申込方法：直接来館または電話予約後、参加費を支払ってください。
- 申し込み・問い合わせ：町生涯学習センター
☎ 096(293)2146

- *参加費には講座負担金
(一般500円・中学生以下200円)を含みます。
- *定員になり次第、申し込みを締め切ります。
- *申込者が少ない場合は開講しない場合があります。
- *町内在住・在勤の人を優先して受付します。
- *新型コロナウイルス感染対策を実施して開講しますが、感染拡大状況によっては中止することもあります。

えび料理

開講日	2月18日(木曜日)
時間	午前10時～正午
場所	大津地区公民館分館 調理室
定員	10人(先着順)
内容	えび入りがんもどきの作り方、他との組み合わせ方を学びます。その他にもえびの魅力を引き出す料理を作ります。(何を作るかは、当日のお楽しみ!)
講師	岡崎 正博さん
参加費	1,500円
準備物	エプロン、三角巾、タッパ(持ち帰り用)
申込期間	1月20日(水)～2月10日(水)

ひなまつり料理

開講日	2月19日(金曜日)
時間	午前10時～正午
場所	町生涯学習センター 調理室
定員	10人(先着順)
内容	ひなまつり料理として、水玉ちらし、チキンのごまみそ焼などとデザート(1品)を作ります。
講師	塘田 雅美さん
参加費	1,500円
準備物	エプロン、三角巾、タオル
申込期間	1月20日(水)～2月10日(水)

骨盤ヨガ(朝コース)

開講日	2月15日、22日、3月1日、8日、15日 (月曜日:全5回)
時間	午前10時30分～正午
場所	陣内地区公民館分館 講座室
定員	10人(先着順)
内容	ゆっくりとした動きを繰り返しながら、骨盤などの歪みを整え、肩こりや腰痛などの改善にも効果的です。自宅でもできる体操です。
講師	吉武 千鶴さん
参加費	1,000円
準備物	ヨガマット(持っている人)、飲み物
申込期間	1月20日(水)～2月8日(月)

骨盤ヨガ(夜コース)

開講日	2月18日、25日、3月4日、11日、18日 (木曜日:全5回)
時間	午後7時30分～9時
場所	町生涯学習センター 和室
定員	10人(先着順)
内容	ゆっくりとした動きを繰り返しながら、骨盤などの歪みを整え、肩こりや腰痛などの改善にも効果的です。自宅でもできる体操です。
講師	吉武 千鶴さん
参加費	1,000円
準備物	ヨガマット(持っている人)、飲み物
申込期間	1月20日(水)～2月10日(水)

フラワーアレンジメント(朝コース)

開講日	2月24日(水曜日)
時間	午前10時～正午
場所	町生涯学習センター 研修室
定員	10人(先着順)
内容	お花を使って、フラワーアレンジメントを一緒に作ってみませんか? ご参加をお待ちしています。
講師	吉岡 裕子さん
参加費	2,000円
準備物	花切ばさみ、ペンチ
申込期間	1月20日(水)～2月16日(火)

フラワーアレンジメント(夜コース)

開講日	2月16日(火曜日)
時間	午後6時30分～8時30分
場所	町生涯学習センター 研修室
定員	10人(先着順)
内容	お花を使って、フラワーアレンジメントを一緒に作ってみませんか? ご参加をお待ちしています。
講師	吉岡 裕子さん
参加費	2,000円
準備物	花切ばさみ、ペンチ
申込期間	1月20日(水)～2月8日(月)

※公民館主催で開催されるイベント・講座におけるけがおよび事故などについては、コミュニティ活動災害補償保険の適用範囲内で対応します。

バレンタインチョコレートづくり

開講日	2月6日(土曜日)
時間	午前10時～正午
場所	町生涯学習センター 調理室
定員	8組(小学生と保護者)、 中学生以上の単独参加も可 (先着順)
内容	ハート型のチョコケーキ(12cm)とアーモンドロシエの作り方を学びます。大切な人に手づくりの品をプレゼントしてみませんか。
講師	塘田 雅美さん
参加費	1,500円
準備物	エプロン、三角巾、タオル、袋(ケーキ持ち帰り用)
申込期間	1月20日(水)～1月29日(金)

シニアのための脳トレピアノ

開講日	2月24日、3月10日、24日(水曜日:全3回)
時間	午前10時～正午
場所	町生涯学習センター リハーサル室
定員	5人(先着順)
内容	脳が生き生き若返る大人のグループレッスンをしませんか? 初心者には一本指から、経験者にはレベルに合わせた奏法で指導されます。
講師	原 文香さん
参加費	1,500円
準備物	筆記用具
申込期間	1月20日(水)～2月10日(水)

俳句 大津俳句会

深々と闇の中より霜の声

井芹眞一郎

靴音の尖りだしたる冬の街

秋山 恵子

コロナ禍に翻弄されて冬に入る

市原 初女

枯菊や色春残してまだ立てり

大塚喜久子

吊し柿夕日にとけ込み赤めける

坂本 セキ

冬の蠅申し訳なく叩きをり

佐賀 久子

島々に入相の鐘冬夕焼

松尾 昭雅

あちこちに道路工事や十二月

岡崎 浩子

しっかりと生まれてをりぬ冬木の芽

森山美穂子

俳句 つのはな句会

トンネル抜け阿蘇野に探す福寿草

志賀 孝子

浮きながら感謝しながら年暮れる

田上 公代

街灯に不況にじませ師走来る

木庭 杏子

阿蘇原野やマタノオロチ冬眠す

上杉 波

誘惑の罠ふくらます冬の霧

矢嶋 道子

畑に播きし冬菜ひと畝青深かむ

水野 春子

冬に耐え明日に向かつて浜千鳥

梅木トキエ

けんめいに生きて夕餉の南瓜膳

塚本 洋子

境界線のほつれにかかる冬の月

柴田シノブ

短歌 大津短歌会

真青なる空に見えざる幾筋の道
通いて渡鳥くる

吉永 恵子

自粛して買物すらもままならぬ
飾り花とす石路の花

管野 静

緑陰の少なきわが家の庭なれば
蟬は抜殻のみ姿の見えず

豊岡ミツル

両羽根に黄の花粉抱き巣に入る
遣伝子というも蜂は哀しき

坂本 果子

ほろ酔いの色して十五夜沈みゆ
く目覚めつつある街ビルの上

渡邊佐代子

芒揺れ穂先の奥に噴煙湧く雲と
なりゆく火口の煙

鞍 岳志

銀杏舞い孤愁に満ちたるこの夕
べ幾度問えり人の行方を

小平 善行